

牛海綿状脳症(BSE)に係る肉骨粉について

平成13年9月15日

1 現地調査について

本日、早朝から別添のとおり農林水産省職員を現地に派遣し、関係者からの意見聴取、現物・伝票等の確認を行っている。

2 BSEの疑似患畜からつくられた恐れのある肉骨粉の出荷の停止について

本日の現地調査によっても、当該肉骨粉の流通経路の一部が明らかにならなかったことから、念のため、8月6日以降(株)関東ケミカルで製造された肉骨粉及び同社から徳島化製事業協業組合に搬入され販売された肉骨粉を購入した飼料メーカー等に対して、当該肉骨粉及びこれを用いて製造された配合飼料については、当分の間、出荷の停止を行うよう要請する。

3 厚生労働省との協議について

BSEの疑いのある牛の早期発見、流通防止を図る視点から、食肉衛生検査所と家畜保健衛生所の業務の緊密化等について、厚生労働省と協議を行っている。

連絡先

- 1 農林水産省生産局畜産総合対策室長 荒川
電話03-3502-8111(内3864)
直通03-3501-1083
- 2 農林水産省生産局飼料課長 木下
電話03-3502-8111(内3990)
直通03-3501-3778
- 3 農林水産省生産局衛生課長 宮島
電話03-3502-8111(内4030)
直通03-3591-6584

調査場所	千葉県東金市(千葉県東部家畜保健衛生所)	茨城県鹿島郡波崎町(株式会社関東ケミカル)	徳島県徳島市(徳島化製事業協業組合)
調査者	小林 食肉鶏卵課課長補佐 杉崎 飼料課課長補佐	川島 食肉鶏卵課課長補佐 吉田 飼料課課長補佐	大野 食肉鶏卵課調整官 大石 衛生課課長補佐
同行者	県庁職員3名	県庁職員3名	県庁職員2名
調査状況	<p>当該牛を診断したと畜検査員(千葉県職員で獣医師の資格を所持)と光町営東陽食肉センター所長から聞き取り。併せて当日の措置命令書等の書類を調査。</p> <p>当該牛はと畜検査で「全部廃棄」と判断され、検査のために同家畜保健衛生所に搬出された頭部以外は全て運送業者により、(株)関東ケミカルに搬入され、頭部は同家畜保健衛生所に搬入されたことを確認。</p>	<p>本日午前、現地に到着したが、工場の責任者と連絡がとれない状況。</p> <p>明日、徳島化製事業協業組合常務((株)関東ケミカル取締役を兼務)が(株)関東ケミカルに来所し、その立会いの下、調査を行う予定。</p>	<p>入在庫伝票と現物の所在を確認。</p> <p>(株)関東ケミカルで8月6日以降製造された肉骨粉については、入庫後出荷された可能性は極めて小さい。</p>